

報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 10 月 24 日 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分		
自治協議会名	高尾自治協議会	開 催 場 所	高尾地区市民センター
出席議員	西口 和成、陶山 美佐、宮崎 栄樹、山下 典子		
	班 長	陶山 美佐	記録・報告者 山下 典子
参加人数	19 名		

【主な意見・提言等】

<旧高尾小学校体育館の今後について>

- ・地域住民や近隣の方々が利用し、避難場所となっていた旧高尾小学校体育館は老朽化に伴う雨漏りやつり天井の問題があり、現在は廃止され使用禁止となっている。修繕を行い再び避難所や地域の交流の場として活用したいとの意見が住民から寄せられている。
- ・やむを得ず岳の里を避難所として使っているが、狭いため、収容人数は約 30 人と限られている。
- ・スポーツ施設から令和 4 年に普通財産に移行し、所管が変更された。
- ・旧高尾小学校体育館は地域の交流の場であり、命を守るための避難所として必要である。コミュニティ助成により段ボールベッドなどの防災用品を整備しているが、使えなくなっている。再び大事な命を守る施設と位置づけることについて協議を求める声が挙げられた。

<今後の対策>

- ・議会として要望を伺うとともに、民間活用の可能性も含めて検討していただきたい。
- ・再度、住民が市との協議を要望していることをお伝えする。

<岳の里の今後について>

- ・岳の里のデイサービス施設は平成 28 年 4 月から令和 5 年 3 月 31 日までは伊賀市社会福祉協議会が運営していた。令和 5 年 4 月からは「キラッと輝け！応援補助金」を活用して自治協が運営していますが、この補助金は 3 年で終了するため、その後の運用が課題となっている。
- ・岳の里の事業では介護予防の効果がでているため、名張市のように介護予防の財源を活用して事業を継続していけるよう提案してほしい。

<その他>

- ・現在、伊賀市では 20 年を振り返り、自治協への支援を今後どのようにやっていくのかについて聞きとりを行っている。人の支援や財政的支援をしっかりと行うよう要望する。

- ・地域の人材を確保するために、集落支援員や地域おこし協力隊等の制度がある。
- ・ふるさと納税の地域指定を設けるということも考えられる。

伊賀市議会議長 様

令和7年12月10日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 2 班

班長 陶山美佐